

令和6年度 学校運営等に関する評価書

学校名	和歌山市立紀伊小学校
作成日	令和 7年 2月 18日

1 教育目標

『心豊かに たくましく生きる 子供を 育てる』

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	* 児童及び保護者アンケートで「毎日の勉強がわかる」を90%以上にする * 「家庭学習の習慣が身についている」を70%以上にする	* 児童アンケートで「学校が楽しい」の割合が昨年度より増える * 保護者アンケートで「あいさがよくできている」を80%以上にする	* 保護者アンケートで「早寝、早起き、朝ごはん」の定着90%以上にする * 体力テストで、全国平均を上回る	* 保護者アンケートで「学校の様子をわかりやすく伝えている」を90%以上にする * 出前授業や体験活動を行い、外部講師を複数回招く
重点目標に対する意見	○全国学力・学習状況調査の結果からも、安定した学力であることがわかる。 ○学力の定着には、家庭学習も大事である。	○道徳教育・人権教育を進め、人権意識の高い子を育てたい。	○基本的な生活習慣の確立を続けてほしい。 ○運動に親しむ機会や場の設定は必要である。 ○想定外のことが起こる昨今、乗り越える力の育成が大事である。	○学校・家庭・地域の連携を深め、協力して子供達を支えていきたい。 ○地域を活用し、より専門的な知識を持った人材の活用が望まれる。
取組状況に対する意見	○担任だけでなく、多くの先生が子供達の支援にあたっている。 ○子供達が家庭でも主体的に学習するための工夫がいる。 ○図書館司書の先生が来てくれていることは、良いことだ。	○地域の特性をとらえ、幼小連携や特別支援学校との交流によく取り組んでいる。 ○友達とのかかわりや交流を通し、たくましさを育ててほしい。	○生活習慣の確立には、家庭の協力が必要である。 ○子供の遊びが変わってきている。体を動かす遊びをしてほしい。	○「紀伊文化まつり」に子供達の作品を展示することができた。 ○見守り活動では、大勢の地域の方々の協力を得られた。
取組の適切さの検証結果	○様々な子供たちに寄り添った多様な学びの場がよい。 ○家庭学習の定着とともに、家庭でのICT活用のルール作りも必要である。 ○教員の研修は大切だが、教員の魅力を伝え、やりがいを持たせることも大事である。	○情報モラルを家庭でも教えたい。 ○教育講演会では、「多様性について」保護者や地域の人にも知ってもらえた。	○遊びを通して、さまざまな体の動きが習得されればよいと思う。 ○学校での全校チャレンジ(なわとびや5分間走)は、子どもたちの体力作りに良い活動だと思う。	○地域の活動や見守り活動をもっと知ってもらい、保護者と互いに協力しながら進めていきたい。
改善年度に向けた意見	○1年生からの積み重ねが基礎学力となる。1年1年を大切にしてほしい。 ○若い教員や経験の浅い教員を学校全体で育ててほしい。 ○家庭学習に自主勉強なども取り入れるとよい。	○「生きる力」を身に付けさせてほしい。 ○挫折や困難を乗り越える経験を子供の時期にさせてほしい。	○身近にボール遊び等ができる場所がなく、気軽に運動できる場所が必要である。 ○PTAや関係機関との連携を深め、子供の安全確保に努めてほしい。	○紀伊地区見守り隊と愛育会が連携して、子供達の安全を見守ってほしい。 ○地域をもっと頼って、教育力を高めてほしい。